

就職と進学に関する懇談会にあたって

先進工学部応用物理学科の赤城と申します。2018年度から学科長を務めております。どうぞよろしく願いいたします。

応用物理学科は2015年4月に発足いたしました。応用物理学科の研究室の前身は現在の情報学部情報通信工学科、および工学部電気電子工学科です。

応用物理学科の最初の卒業生は2018年度になりますが、各研究室の先輩の実績などが認められて、進路決定率は2018年、2019年ともに95.1%の高水準となっています。主な就職先としては、電気・情報通信機械器具製造業や情報通信業になります。その他に、応用物理学科の一つの特徴として、大学院進学率が高いということが言えます。2018年度、2019年度とも卒業生の半数程度の学生が大学院に進学しました。理系の多くの学生は、技術開発や、研究などの職種を希望しますが、特に研究職といった専門的な分野を扱う場合、大学院卒を最低条件としている企業が多くみられます。大学で培った知識と技術を十分に活かした仕事に就職するために、是非一度ご子息・ご息女と大学院進学についてお話をさせていただければと存じます。

本年度も就職活動がすでに始まっております。コロナ禍の影響で多くの企業説明会がオンラインで行われています。また、各企業の採用スケジュールや採用計画の見直しや変更もあると聞いております。是非、工学院大学の就職支援課からの情報やイベントを活用していただいて、悔いのないような選択をしていただければ幸いです。

以上